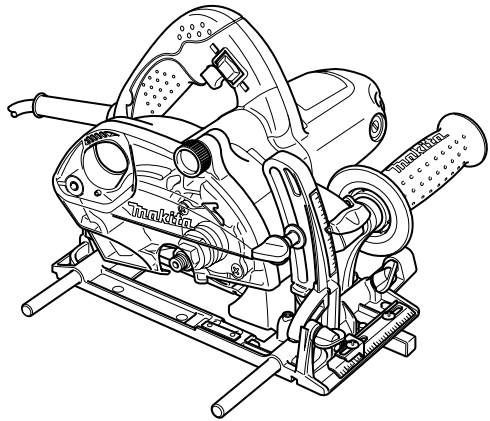


Makita

取扱説明書

小型ミゾキリ

☐ モデル 3005BA
ブレーキ付



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要のない製品です。

このマークを表示した製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、又は準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**小型ミゾキリ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能		モデル	3005BA
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100V	
電流		12A	
周波数		50-60Hz	
消費電力		1,150W	
回転数		8,000min ⁻¹ (回転 / 分)	
切削深さ	直角	0 ~ 24mm	
	傾斜 30°	D ₁ =22.0 mm D ₂ =17.5 mm(刃幅 9 mm) D ₁ =22.0 mm D ₂ =17.0 mm(刃幅 10.5 mm) D ₁ =24.5 mm D ₂ =17.0 mm(刃幅 15 mm) D ₁ =26.0 mm D ₂ =15.5 mm(刃幅 21 mm)	
切削幅		普通カッタ : 2.4 ~ 21mm 三面仕上カッタ : 3 ~ 21mm	
傾斜切削		0 ~ 30°	
本機寸法		長さ 270mm × 幅 237mm × 高さ 185mm	
質量		4.0kg	



- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPA001-11

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ミゾキリ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ミゾキリとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB174-4

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 材料を手にとっての切削はしないでください。
 - ・ カッタに触れ、けがの原因になります。
5. 本機を万力などで保持して、カッタを上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
 - ・ カッタに手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
6. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
 - ・ 回転しているカッタに触れ、けがの原因になります。
7. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、カッタや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ カッタに巻き込まれ、けがの原因になります。
10. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - ・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
11. 運転中のカッタにコードを接触させないでください。
 - ・ 電源ショートや断線・漏電などの事故の原因になります。
12. カッタは、銘板に表示されている範囲内の刃幅のものを使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 使用中は、工具類（カッタなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
14. 切断途中で、カッタを回転させたまま本機を戻そうとすると、強い反発力が生じます。その位置でスイッチを切り、回転が完全に止まってから本機を持ち上げるようにしてください。

⚠ 注意

1. カッタや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、カッタがはずれ、けがの原因になります。
2. 本機を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. カッタの取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、本機の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ カッタに触れ、けがの原因になります。
5. カッタの交換の際は、カッタ取り付けナットを確実に締め付けてください。
 - ・ ナットがゆるむと、けがの原因になります。
6. カッタにヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ カッタが破損し、けがの原因になります。
7. ノコ刃や切断砥石を使用しないでください。
8. 作業前に、人のいない方向にカッタを向けて空転させ、本機の振動やカッタの振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
9. 切削する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
10. 切削しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
11. ブレーキが働く時の反発力に注意してください。
 - ・ 本機を落としたりし、けがの原因になります。
12. 工具類（カッタなど）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
13. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。

注

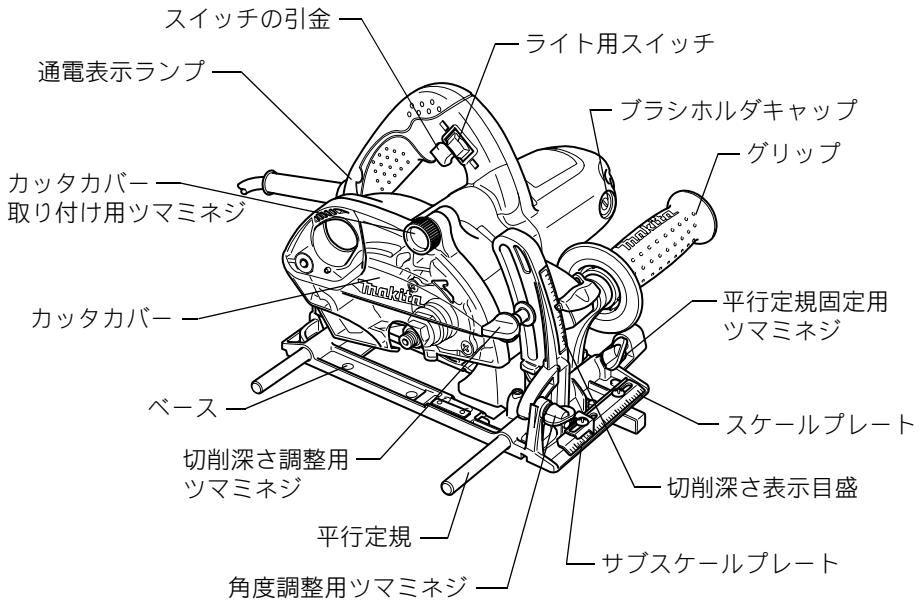
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ スパナ 19
- ・ スパナ 22
- ・ フラットワッシャ 15
- ・ 平行定規

別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。

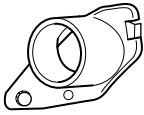
	普通カッタ 	三面仕上カッタ 	替刃式 三面仕上カッタ 	替刃 (1組8枚)
外径	120mm			—
内径	15mm			—
刃幅 (mm)	部品番号			
2.4	A-22414	—	—	—
3.0	A-22420	A-22595	—	—
3.9	A-22436	A-22604	—	—
4.5	A-22442	A-22610	—	—
5.5	A-22458	A-22626	—	—
6.0	A-22464	A-22632	—	—
7.5	A-22470	A-22648	—	—
9.0	A-22486	A-22654	—	—
10.5	A-22492	A-22660	—	—
12.0	A-22501	A-22676	—	—
13.5	A-22517	A-22682	—	—
15.0	A-22523	A-22698	—	—
16.5	A-22539	A-22707	—	—
18.0	A-22545	A-22713	A-13758	A-13764
21.0	A-22551	A-22729	A-13013	A-13035

注

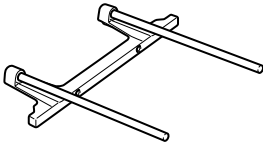
- カッタ刃幅 15mm 以上をご使用の場合は、1度の切削深さを 12mm 以内としてください。

別販売品のご紹介

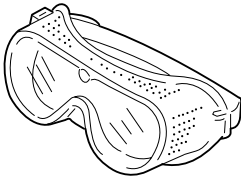
- ・ ジョイント（集じん機接続用）
部品番号：194287-5



- ・ 平行定規
（標準付属品の平行定規より 100mm 長く、幅広材の溝加工に便利です。）
部品番号：194291-4



- ・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2



使い方

カッタの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

カッタの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

カッタを取り付けるときは、本機に付いている矢印とカッタの向きに注意して取り付けてください。

- ・ 本機の矢印とカッタの向きを合わせないと、カッタが逆向きとなり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

カッタの着脱は付属のスパナ以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

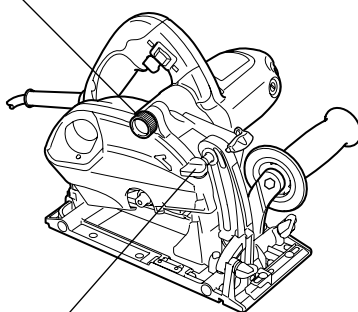
カッタを取り付ける際にはカッタの中心をつかんで取り付けてください。

- ・ 直接刃先に触れますと、切り傷の原因となります。

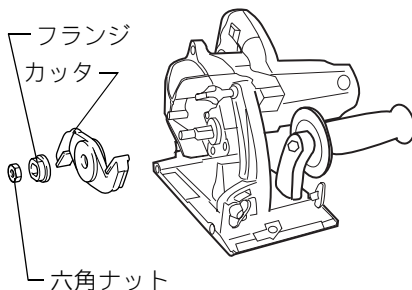
取り付け方

- ・ カッタとベースの角度が直角であることを確認します。(角度調整の方法はP14“切削角度の調整”の項目参照)
- ・ カッタの取り付けは切削深さ調整用ツマミネジをゆるめ、ベースをいっぱいまで下げます。
- ・ カッタカバー取り付け用ツマミネジをゆるめてカッタカバーをはずします。
- ・ 付属のスパナ 22 をフランジの二面幅にかけ、スパナ 19 で六角ナットをゆるめフランジをはずします。
- ・ カッタの取り付けはカッタの向きに注意して、カッタ→フランジ→六角ナットの順にスピンドルへはめ、2本のスパナで確実に締め付けてください。

←カッタカバー取り付け用ツマミネジ

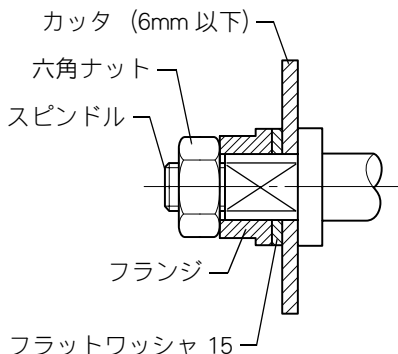


←切削深さ調整用ツマミネジ

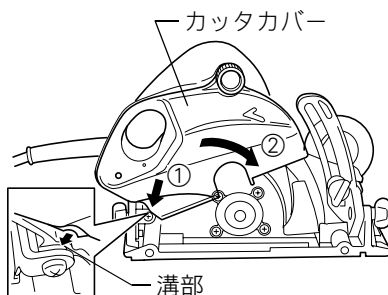


使い方

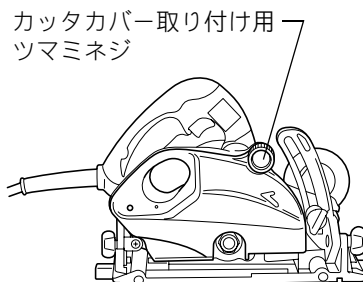
- ・ 刃幅が 6mm 以下のカッタを使用されるときは、付属のフラットワッシャ 15 をカッタとフランジの間に入れてください。(図参照)



- ・ カッタカバー取り付け用ツマミネジでカッタカバーを取り付けます。
- ・ 最初に図の溝部にカッタカバーを引っ掛け、そこを軸に回転させるように本機に重ね合わせます。



- ・ カッタカバー取り付け用ツマミネジでカッタカバーを締め付け、固定します。



注

- ・ カッタを取り付けるときは、スピンドルやフラットワッシャ 15 などに付いた切屑などをよく拭き取って締め付けてください。

取りはずし方

- ・ カッタを取りはずす場合は、取り付けと逆の要領で行ってください。

使い方

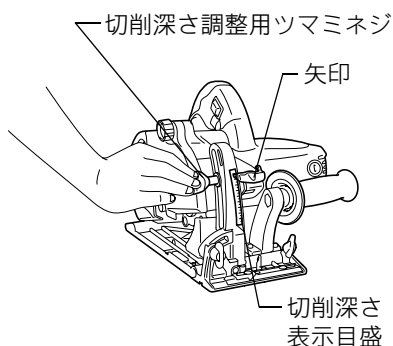
切削深さの調整

⚠ 警告

切削深さ調整後は必ず切削深さ調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。

・ 締め付けが不十分なままご使用になりますと、けがの原因になります。

- ・ 切削深さ調整用ツマミネジをゆるめると、ベースが上下に移動します。
- ・ 矢印を切削深さ表示目盛に合わせ、切削深さ調整用ツマミネジをしっかりと締め付けます。
- ・ 切削深さ表示目盛板の 1 目盛は 3mm です。



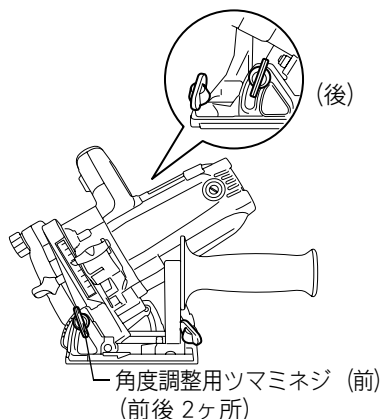
切削角度の調整

⚠ 警告

切削角度調整後は必ず切削角度調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。

・ 締め付けが不十分なままご使用になりますと、けがの原因になります。

- ・ 角度調整用ツマミネジ (前後 2ヶ所) をゆるめて、お望みの角度 (0 ~ 30°) に本機を傾けます。
- ・ 調整後は、角度調整用ツマミネジ (前後 2ヶ所) をしっかりと締め付けてください。

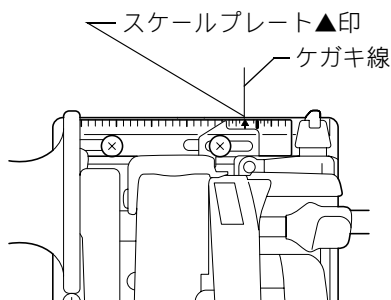


使い方

切削位置の合わせ方

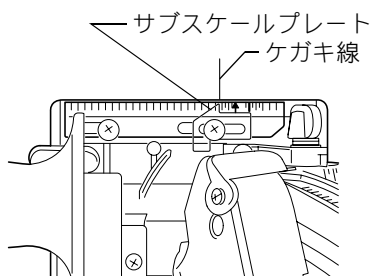
直角の場合

- ・ スケールプレートの▲印をケガキ線に合わせてください。スケールプレートの1目盛は3mmです。



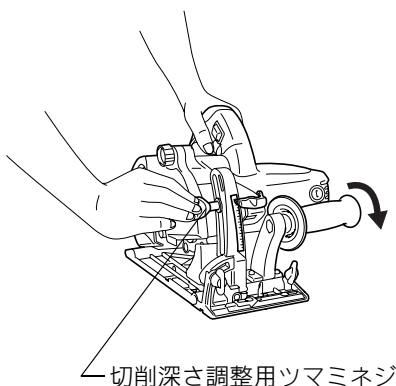
傾斜の場合

- ・ サブスケールプレートの先端をケガキ線に合わせてください。



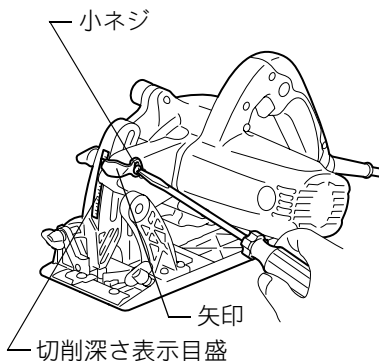
切削深さ表示の調整

- ・ グリップをはずします。
- ・ 切削深さ表示目盛の0と矢印を合わせます。
- ・ カッタを手で回しながら刃先とベース底面が一致しているか確認します。ベース底面より刃先が出ていたり、引っ込んでいるときは、切削深さ調整用ツマミネジをゆるめ、ベース底面とカッタの刃先が一致するところで固定します。



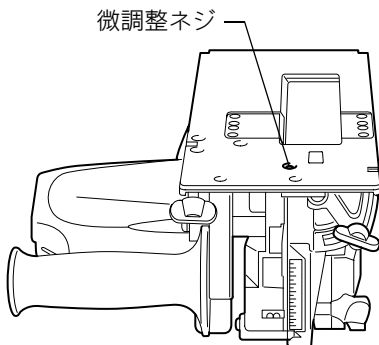
使い方

- ・ 矢印を固定している小ネジをゆるめます。切削深さ表示目盛の0点に矢印を合わせ小ネジを締め付け、矢印を固定します。
- ・ グリップを取り付けます。
- ・ 切削深さ表示目盛の1目盛は3mmです。加工される深さに矢印を合わせてください。



直角の微調整

- ・ 本機はノコ刃とベースの角度が正確に90度になるように、微調整ができます。出荷時には90度になるよう調整してありますが、万一、角度が狂っているようでしたら、微調整ネジを回すことで、角度を調整することができます。正確に90度調整が必要でしたら、お買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

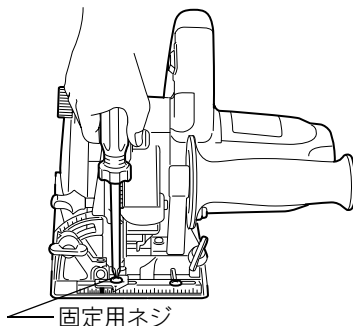
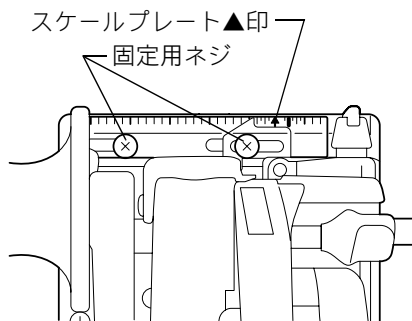


使い方

スケールプレートの調整

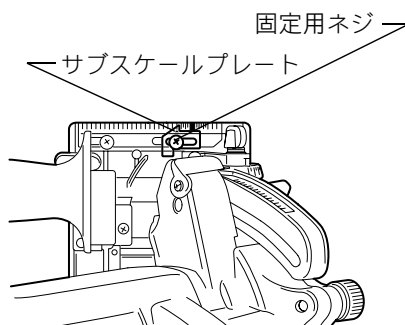
直角の場合

- ・ 材料の試し切りをします。
- ・ 固定用ネジ 2 本をゆるめます。
- ・ 切削溝の左側面にスケールプレートの▲印を合わせます。
- ・ 固定用ネジを締め付けます。



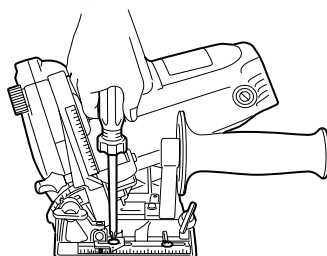
傾斜の場合

- ・ 傾斜角度および切削深さを決めてから材料の試し切りをします。
- ・ 固定用ネジをゆるめます。
- ・ 切削溝の左側面にサブスケールプレートの先端を合わせます。
- ・ 固定用ネジを締め付けます。



注

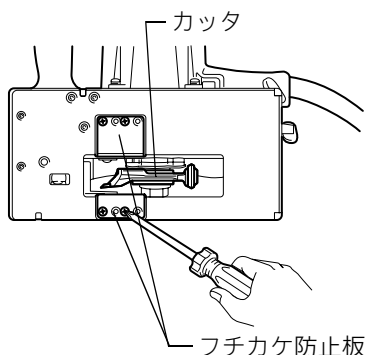
- ・ 本機の傾斜角度および切削深さを変更およびカッタを変更したときはそのつど調整を行ってください。



使い方

フチカケ防止板の調整

- ・ 本機をうら返して、フチカケ防止板を固定している左右の4本のネジをゆるめ、フチカケ防止板がカッタの刃先に当たらない程度に移動させ、ネジを締め付けてください。
- ・ カッタの刃幅の小さいものや傾斜時には必要に応じて、フチカケ防止板の左右を入れ替えて取り付けてください。

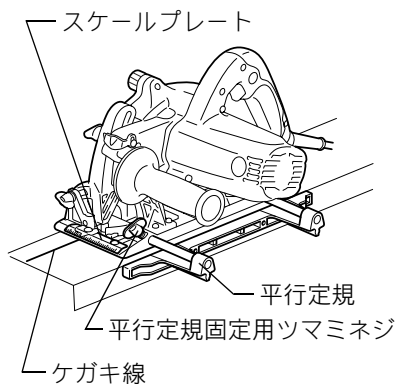


平行定規の使い方

- ・ 溝をまっすぐ切るために、平行定規を使用してください。

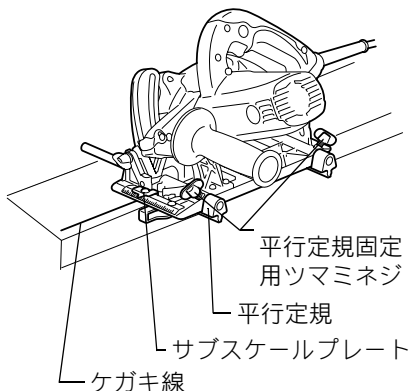
直角の場合

- ・ スケールプレートの▲印とケガキ線が一致するように平行定規を合わせ、平行定規固定用ツマミネジで固定してください。



傾斜の場合

- ・ サブスケールプレートの先端とケガキ線が一致するように平行定規を平行定規固定用ツマミネジで固定してください。



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

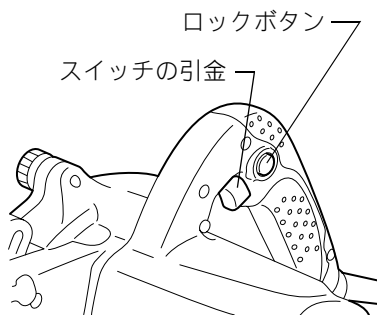
- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

⚠ 注意

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。

- ・ 本機を落としたりし、けがの原因になります。

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離してください。



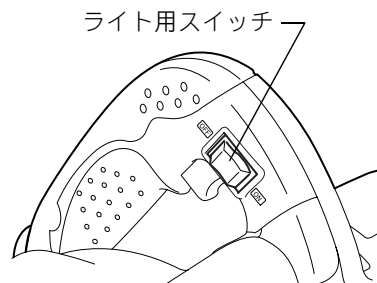
ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

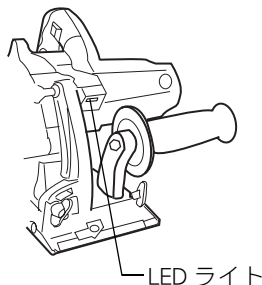
- ・ ハンドル部上部のライト用スイッチのON側を押すとライトが点灯し、OFF側を押すと消灯します。



使い方

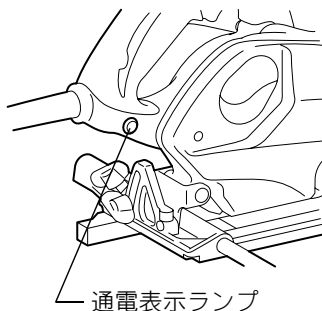
注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布等で拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズの掃除の際は、ガソリン・シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。



通電表示ランプ

- ・ プラグを電源につなぐと通電表示ランプ（緑色）が点灯します。



- ・ 次のような症状がでた場合には、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所に修理をお申し付けください。

	症状	原因
①	・ 電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯せず、スイッチを入れても作動しない。	・ 電源コードの故障です。
②	・ 通電表示ランプ（緑色）は点灯しているがスイッチを入れても作動しない。	・ カーボンブラシの寿命、モーターあるいはスイッチの故障です。
③	・ 電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯せず、スイッチを入れると作動する。	・ 通電表示ランプの故障です。

使い方

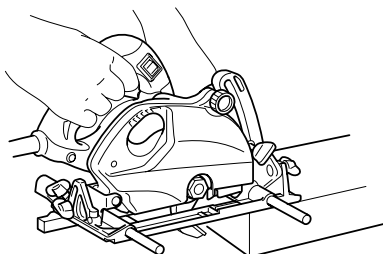
削り方

⚠ 注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。

- ・ カッタが回転し反発が生じ、けがの原因になります。

- ・ 材料の上にベースの先端をのせ、平行定規を材料の側面に沿わせてカッタが材料に触れない状態でスイッチを入れ、回転が完全に上昇し安定してからベースと材料を密着させて、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



注

- ・ 削り始めや、削り終わりに本機が傾きますと材料の端を深く削ってしまうことがありますので、ご注意ください。

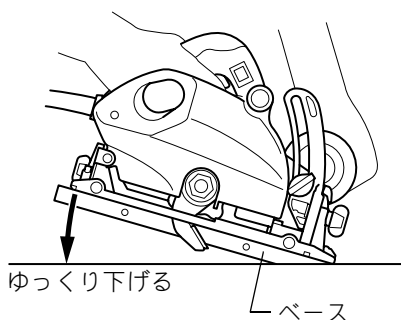
材料の途中から溝を掘る場合（直角のみ）

⚠ 注意

急激に切り込みますと反発を生じますので徐々に切り込んでください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 切り込み深さの調整をした後、ベースの先端を材料にあて、後端を持ち上げカッタを削り始める位置に合わせ、回転が安定したら本機の後端をゆっくり下げて切り込んでください。



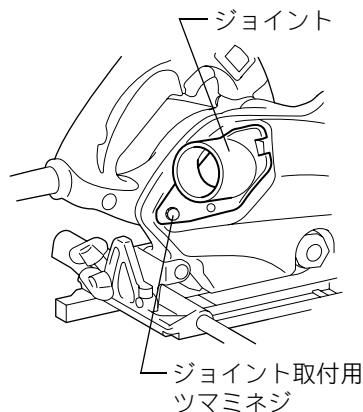
別販売品の使い方

ジョイントについて

- ・ 本機にジョイントを取り付けることにより当社集じん機と接続でき、衛生的に作業をすることができます。

ジョイントの取り付け方

- ・ 本機に図のようにジョイント取付用ツマミネジで取り付けてください。



集じん機との接続

- ・ ジョイントに合うホース、ジョイントを使用して集じん機へ接続してください。詳細は総合カタログを参照してください。

注

- ・ 集じん機を接続しない場合は、ジョイントをはずしてください。ジョイントを取り付けたまま使用すると、切屑がつまる場合があります。

保守・点検について

カーボンブラシの点検および交換

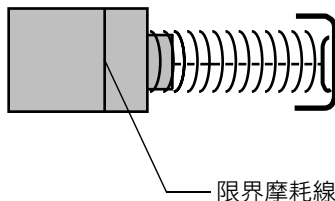
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

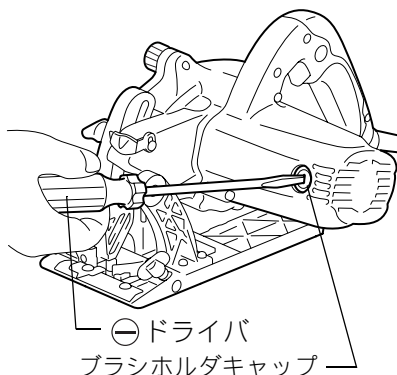
カーボンブラシの点検

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
- ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩擦したら新品と取り替えてください。



カーボンブラシの交換

- ・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



注

- ・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用しますとブレーキがかからないことがあります。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(0792) (81) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (841) 2201
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (841) 2201
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0478) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882265-4